

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Technical Report of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

EIAJ RC-5126A

電子機器用タクティルプッシュスイッチ品種別通則

**Push-button Switches with Tactile Feeling
for use in Electronic Equipment**

1994年4月制定

2001年10月改正

作 成

接続部品標準化委員会

Technical Standardization Committee on Connecting Components

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

目 次

1. 適用範囲	1
2. 用語の定義	1
3. 形名	2
4. 外観, 構造, 寸法及び表示	4
5. 材料	5
6. 性能	5
機能動作	6
接触抵抗	6
絶縁抵抗	6
耐電圧	7
コンタクトバウンス	8
端子強度	9
操作部の強度	9
作動力	10
作動量	10
はんだ耐熱性	11
はんだ付け性	12
耐振性	13
耐衝撃性	13
機械的耐久性—標準大気状態—	14
電氣的耐久性—負荷—	15
低 温	16
低温貯蔵	16
高 温	17
高温貯蔵	18
高温高湿性(定常状態)	18
耐湿性(温湿度サイクル)	19
温度サイクル	20
塩水噴霧	21
硫化水素	22
7. 試 験	23
8. 包 装	24
9. 製品の呼び方	24
10. 表 示	25
付図1	26
付表1	27
解 説	29

電子情報技術産業協会規格

電子機器用タクティルプッシュスイッチ品種別通則

Push-button Switches with Tactile Feeling for use in Electronic Equipment

1. **適用範囲** この規格は、主として電子機器に用いる定格電圧 DC40V 以下、定格電流 50mA 以下で操作部の公称作動量が 1.5 mm 以下のタクティルフィードバック機構を有する単操作形小形プッシュスイッチ(以下、スイッチという)の機械的性能、電気的性能及び耐候性を定めその一般的要求事項について規定する。

備考 この規格の引用規格を、次に示す。

- JIS C 0020(1995) 環境試験方法(電気, 電子)低温(耐寒性)試験方法
- JIS C 0021(1995) 環境試験方法(電気, 電子)高温(耐熱性)試験方法
- JIS C 0022(1987) 環境試験方法(電気, 電子)高温高湿(定常)試験方法
- JIS C 0023(1989) 環境試験方法(電気, 電子)塩水噴霧試験方法
- JIS C 0025(1988) 環境試験方法(電気, 電子)温度変化試験方法
- JIS C 0028(1988) 環境試験方法(電気, 電子)温湿度組合せ(サイクル)試験方法
- JIS C 0040(1995) 環境試験方法(電気, 電子)正弦波振動試験方法
- JIS C 0041(1995) 環境試験方法(電気, 電子)衝撃試験方法
- JIS C 0050(1996) 環境試験方法(電気, 電子)はんだ付け試験方法
- JIS C 0051(1994) 環境試験方法(電気, 電子)端子強度試験方法
- JIS C 5441(1994) 電子機器用スイッチの試験方法
- JIS K 8101(1994) メタノール
- JIS Z 3282(1986) はんだ
- JIS C 5443(1997) 電子機器用スイッチ品目別通則
- EIAJ RC-0901(1992) 電子部品の製造年月及び製造年週表示記号

(参考規格)

EIA RC-448-1 (EIA Standard test methods for electromechanical switches)

2. **用語の定義** この規格で用いる主な用語の定義は、JIS C 5441(電子機器用スイッチの試験方法)及び JIS C 5443(電子機器用スイッチ品目別通則)によるほか、次による。

- (1) **端子** 外部回路との結合のために設けられた導体。
- (2) **可動接点** 端子と接触して回路を構成する可動導体。